

JAPIA統一データシート概要

本書の目的

- ・ 本資料は、JAPIA統一データシート(以降、JAPIAシートと記述)の概要説明です。
- ・ 最新版のJAPIAシートとその関係資料は、以下より入手できます。

JAPIA Webサイト (<https://www.japia.or.jp/>)

CEMA Webサイト (<http://www.cema.or.jp/>)

JIVA Webサイト (<http://www.jiva.or.jp/>)

2022/10/01

JAPIAシート連絡会

目次

I . 基本情報	－ － － － － P.3
1. JAPIAシートについて	－ － － － － P.4
2. 運営主体とサプライチェーン利用範囲	－ － － － － P.5
3. システム要件・動作環境	－ － － － － P.7
4. 改正作業と日程	－ － － － － P.8
5. パスワードと動作期限	－ － － － － P.9
6. 操作方法	－ － － － － P.10
7. 旧バージョンとの互換性	－ － － － － P.11
8. 著作権	－ － － － － P.12
II . Ver.4.10リリース情報	－ － － － － P.13
・ Ver.4.02b → 4.10改正内容一覧	－ － － － － P.14
・ 含有率の精度向上について	－ － － － － P.15
・ 材料リスト変更(または改正)内容詳細	－ － － － － P.16
・ JAPIAシートVer.4.10 2022年10月1日版資料一覧	－ － － － － P.17
・ 別紙:BSL変更内容	－ － － － － 別紙
来歴	－ － － － － P.18

I . 基本情報

- ・ 本章では、JAPIAシートの基本情報を説明します

1. JAPIAシートについて

JAPIAシートは、環境規制への対応のため、製品中に含有する材料・物質の調査に使用する目的で、一般社団法人 日本自動車部品工業会(JAPIA)を含むJAPIAシート連絡会(次ページ参照)にて合意された帳票です。

JAPIAシートには下記の特徴があります。

- ・JAPIAシートの前に使用されたJAMA/JAPIA統一データシート(以下、JAMAシートと記述)Ver.2.01以降に対し、データの上位互換性があります。
- ・JAMAシートとは異なる独自の物質リスト使用しています。
- ・データ作成の基本事項はJAMAシート同様、IMDSを踏襲しています。
「JAPIA統一データシート運用規則」の最新版を参照。
(入手先はP.1参照)

2. 運営主体とサプライチェーン利用範囲

(1) 運営主体

名称: JAPIAシート連絡会

組織構成: 一般社団法人 日本自動車部品工業会
一般社団法人 日本建設機械工業会からの参画企業
一般社団法人 日本産業車両協会からの参画企業
一般社団法人 日本農業機械工業会からの参画企業

役割:

- ・ JAPIAシート自体の維持
(各企業の製品含有化学物質管理のために必要な、
物質調査ツールを維持する)
- ・ JAPIAシートによる物質調査運用の統一性維持※1
(サプライチェーンで物質調査を円滑に行なうために欠かせない、
運用方法の統一を維持する)

※1: 建設機械・産業車両・農業機械の業界において、既に産業界に認知されている他の物質調査ツール(IMDS、chemSHERPA、CDX、など)を企業間の合意に基いて使用することを妨げるものではなく、また、物質調査ツールの使用が困難な場合に企業間の合意に基いて非含有宣言書を使用することも妨げない。ただし、JAPIAシートの書式、管理対象物質(GADSL)、JAPIA統一データシート運用規則から外れた運用は行ってはならないという趣旨

(2) サプライチェーン利用範囲

【自動車業界】

サプライチェーン上の各サプライヤ内(自動車メーカーは使用しない)

【建設機械・産業車両・農業機械の業界】

1) 各参画企業内※2

2) 各参画企業が過半出資(51%以上)または経営に強く関与している子会社内※2

3) 1)、2)のサプライチェーン上の各サプライヤ内

※2 建設機械、産業車両、農業機械だけでなく、その会社の全事業で利用可能

3. システム要件・動作環境

JAPIAシートを利用するためには、マイクロソフトWindows及びMS-Excelが必要です。

最新の動作環境は、JAPIA, CEMA, JIVA Webサイト及び、入力マニュアルの最新版を参照してください。

4. 改正作業と日程

以下の目的のため、原則、年間3回改正しますが、事前の通知はしない。

改正日	記入帳票	外部リスト	ユーザ物質登録 申請の締め切り
4月1日	(改正しない)	GADSL改正を反映	12月末
7月1日	(改正しない)	JIS改正を反映	3月末
10月1日	機能追加	GADSL改正を反映	6月末

必要に応じ、改正時期は見直す。

ユーザは、原則、最新版を使用。ただし、円滑な切り替えのため会社間では1か月程度の並行運用期間を設けること。

ファイル名に付属する年月日(YYMMDD)で、新旧版を判断します。

5. パスワードと動作期限

(1) パスワード

記入帳票

- ・JAPIAシート連絡会及びJAPIA会員に限定的に開示する
- ・その製品供給元へはサプライチェーンに沿って個社で開示する
- ・自動車サプライチェーンではあるが、JAPIA会員以外の企業を起点としてJAPIAシートを使用する場合はJAPIA事務局に問い合わせパスワードを入手する

外部リスト

- ・JAPIAシート連絡会の著作物を含むため、ユーザへは非開示とする

(2) 動作期限

記入帳票

- ・原則、次期バージョン発行後、1か月間有効

外部リスト

- ・必ず指定された最新の外部リストを利用すること
(ただし、旧外部リストは最新の外部リスト発行後1か月間有効)

6. 操作方法

(1) 記入帳票と外部リストを入手します

- ・JAPIA, CEMA, JIVA Webサイトからダウンロードしてください(入手先はP.1参照)
- ・記入帳票と外部リストは同じフォルダに保管ください
(同じフォルダにないと、データ入力・エラーチェック作業ができません)

(2) 記入帳票を開いて、入力帳票にデータを入力してください

- ・マニュアルを参考に、データを入力します
- ・記入帳票(Excel)は、マクロを有効にする必要があります
- ・行全体をコピーするときは、[行複写]をクリックしてください
- ・行全体を削除するときは、[行削除]をクリックしてください
- ・[選択]をクリックすると表示された一覧表から選択入力ができます

【注】 GADSLにあり閾値以上含有する物質は、入力する必要があります

(3) 入力データのエラーチェックをします

- ・[入力データのチェック]をクリックすると、エラーチェックを実行します
- ・エラーチェック結果がOKの場合は「エラーはありません」と表示されます
- ・全てのエラーを解消しないと、調査元へ報告することができません

【注】 エラーチェックは入力形式のチェックを実施するものです

エラーなしでも調査元からデータ内容を確認されることがあります

(4) 調査元へ提出します

- ・[CSVファイルの出力]をクリックして、CSVファイルを作成し提出ください

7. 旧バージョンとの互換性

(1) 外部リスト

互換性なし。

必ず指定された最新バージョンの外部リストを利用して下さい。
(入手先はP.1参照)

旧バージョンの外部リストは、エラーチェックや選択入力が正しく動作しないため利用することができません。

(2) CSVファイル

互換性あり。

旧バージョンにて作成したCSVファイル*でも取り込みできます。
ただし、入力内容によっては、外部リストの見直しに伴い、
エラーが発生する可能性があります。この場合データの修正が必要となります。

*: JAMAシートのCSVファイル(Ver.2.01～3.02b)も含む

8. 著作権

JAPIAシートに関する著作権は、JAPIAシート連絡会が保有しています。

(JAPIAシート記入帳票より抜粋)

《 注意事項 》

全ての関連資料に対して、下記の行為は禁止されていますので、遵守して下さい。

- ・ 会社間で製品環境負荷物質情報のやり取りを行う以外の目的で利用することはできません。
- ・ 関連資料/プログラムは著作権およびその他の知的財産権に関する法律および条約によって保護されています。不正に流用することはできません。
- ・ 売買基本契約等の会社間の契約を締結していない第三者に配布することはできません。

ただし、外部リスト中の物質リストについてはJAPIAが著作権を保有しています。

Ⅱ . Ver.4.10リリース情報

- ・ 本章では、JAPIAシート改正時リリース情報の概要を説明します

<Ver.4.02b → 4.10改正内容一覧>

ファイル	改正項目	改正内容
[1]運用規則	変更なし	
[2]記入帳票	(プログラム)	P.15を参照 小数点以下桁数を6桁から9桁へ変更する
[3]外部リスト	BSL	「別紙:BSL変更内容_221001.pdf」 ・P.1を参照 追加申請、第27次SVHCへの対応など
	材料リスト	P.16を参照 JIS改正内容の反映、VDA材料分類コードの追加及び、IMDSとの整合性の確保
[3]外部リスト説明資料	Ⅲ. Appendix:外部リスト抜粋版	シート「MAT」を変更
[4]入力マニュアル	変更なし	
[4]JAPIAシートマニュアル	3.4.3.4 構成材料	材料質量、物質含有率の小数点9桁化に伴い、材質質量の四捨五入画面を差し替えた。
[5]管理対象物質説明資料	変更なし	

1) 背景

2020年7月、EU POPSにおいて、PFOAおよび関連物質が禁止物質に指定され、閾値が25ppb(0.0000025%)に設定されました

2) 2022年10月改正内容

小数点以下桁数を6桁から9桁へ変更する

- ・物質含有率
- ・含有率(最小値)
- ・含有率(最大値)
- ・材料質量 *1

15		26		42		
構成材料				部工会オプショ		
材料質量		物質	プレ	物質	物質	物
[g/構成部品]		含有率	シユ	含有率	含有率	含有
			イクル	(最小値)	(最大値)	(残
四捨五入			割			
			最小			

*1 : IMDSとの互換性維持のため

材料リスト改正内容詳細(1/1)

(1) JIS改正内容の反映

JIS規格	改正時期	内容
JISG4403 (高速度工具鋼鋼材)	2022年 5月	材料削除(成分規定あり) SKH50, SKH52
JISG4404 (合金工具鋼鋼材)	2022年 5月	材料削除(成分規定あり) SKS11, SKS21, SKS4, SKS41, SKS43, SKS44, SKS94, SKD2, SKD5, SKD6, SKT3, SKT6

注意: 材料削除による旧材料コードの材料リストからの削除は次のリリースで行う。

(2) VDA材料分類コードの追加

はんだについて、高融点はんだに使用するため、VDA材料分類コードに3.5も追加した。

<変更前>

構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・ その他)	VDA 材料 分類 コード	IMDS 登録名称
Solder	はんだ	JAMAA4444	SOLDER	4.2	Solder

<変更後>

構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・ その他)	VDA 材料 分類 コード	IMDS 登録名称
Solder	はんだ	JAMAA4444	SOLDER	3.5 or 4.2	Solder



(3) IMDSとの整合

IMDSにおいて、レコメンデーションIMDS 011からリン酸塩処理のコミッティ材の掲載がなくなったため、同材料データを削除した。今後は、成分情報を入力する必要がある。

<JAPIAシートVer.4.10 2022年10月1日版資料一覧>

資 料		ファイル名称		
[0]概要				
JAPIA統一データシート概要	日	JAPIAシート概要_221001.pdf		
	EN	JapiaSheet_Overview_EN_221001.pdf		
	別紙:BSL 変更内容	日	別紙:BSL 変更内容_221001.pdf	
		EN	Appendix: BSL Changes_221001.pdf	
[1]運用規則				
JAPIA統一データシート運用規則	日	JAPIAシート運用規則_200501.pdf		
[2]記入帳票				
JAPIA統一データシート(記入帳票)	日	JapiaSheet_JP_221001.xlsm		
	EN	JapiaSheet_EN_221001.xlsm		
	中	JapiaSheet_CH_221001.xlsm		
[3]外部リスト				
JAPIA統一データシート(外部リスト)	日	EXLIST-2022-10-01JP.xlsx		
	EN	EXLIST-2022-10-01EN.xlsx		
	中	EXLIST-2022-10-01CH.xlsx		
外部リスト説明資料	日	外部リスト説明_221001.pdf		
	EN	I.物質リスト		
		II.材料リスト		
III.Appendix:材料リスト抜粋版				

資 料		ファイル名称	
[3]外部リスト(続き)			
外部リスト説明資料(続き)			
Appendix:材料リスト抜粋版	日	外部リスト抜粋_221001.xlsx	
	EN	ExList_Abstract_EN_221001.xlsx	
[4]マニュアル			
入力マニュアル Ⅰ.簡易入力マニュアル Ⅱ.Q&A Ⅲ.入力事例	日	入力マニュアル_220701.pdf	
	EN	Input_Manual_EN_220701.pdf	
入力事例	日	入力事例_201001.xlsx	
	EN	JapiaSheet_Sample_EN_201001.xlsx	
JAPIAシートマニュアル	日	JAPIAシートマニュアル_221001.pdf	
[5]管理対象物質			
管理対象物質説明資料 Ⅰ.管理対象物質の考え方 Ⅱ.GADSLリファレンスリスト Ⅲ.参考:GADSL分類の日本語訳	日	管理対象物質説明_221001.pdf	
	EN	GADSL-Reference-List.xlsx	
参考:GADSL分類の日本語訳	日	参考:GADSL分類の日本語訳 2022Ver.2.0.xlsx	

来歴

来歴	改正日	適用Ver.	改正内容
N	2020/05/01	4.00	新規作成
1	2020/10/01	4.01	Ver.4.01に関する情報を追記した。
2	2021/01/11	4.01a	IMDSリリース13.0のVDA材料分類コード1.2, 5.4, 5.5.1, 8.1, 8.2廃止に伴い変更した。
3	2021/04/01	4.01b	外部リストの修正内容を追記した。 管理対象物質をGADSL2021Ver.1.0に変更した。
4	2021/07/01	4.01c	外部リストの修正内容を追記した。
5	2021/10/01	4.02	記入帳票、外部リスト、外部リスト説明資料、入力マニュアルの内容を変更した。
6	2022/04/01	4.02a	外部リストの修正内容を追記した。
7	2022/07/01	4.02b	外部リストの修正内容を追記した。 入力マニュアルのQ&Aを追記した。
8	2022/10/01	4.10	記入帳票、外部リスト、外部リスト説明資料、JAPIAシートマニュアルの内容を変更した。